



# 沖縄地区税関 管内貿易概況(確々報)

令和4年分

(増減・伸率は対前年比)

## ●令和4年のポイント

### ●輸出

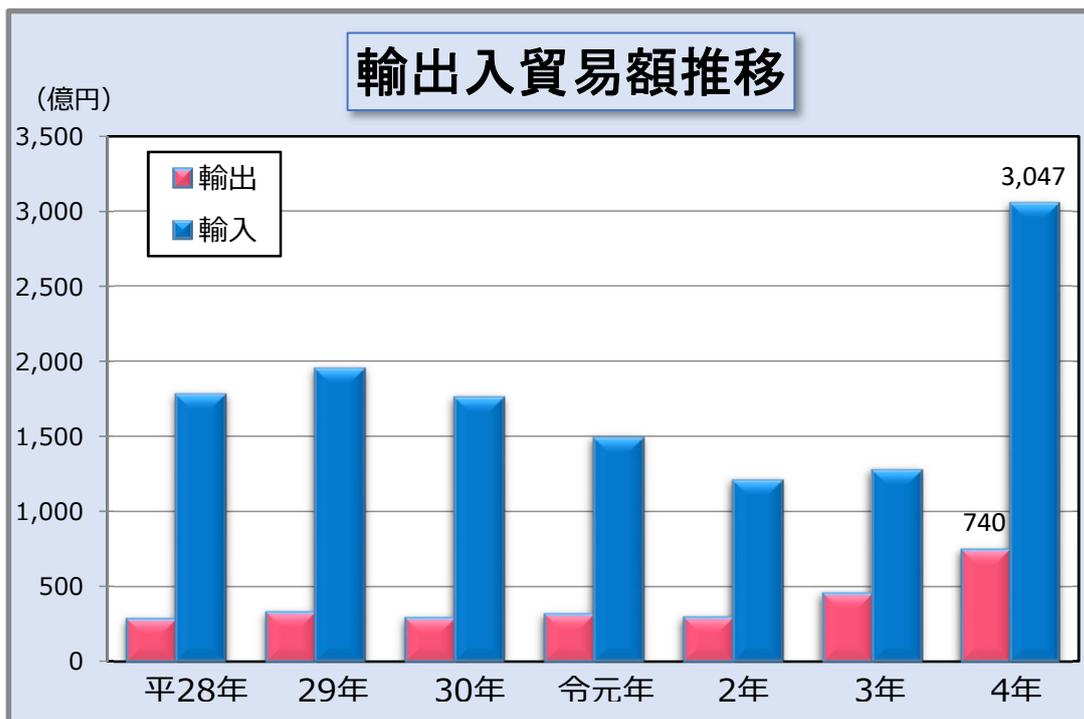
- ・輸出総額は740億4百万円、対前年比64.5%増(2年連続の増加)
- ・主な増加品目は「再輸出品」(2.1倍)、「石油製品」(2.2倍)、「金属鉱及びくず」(15.5%)  
(主な減少品目は「一般機械」(▲15.6%)、「電気機器」(▲89.3%)、「精密機器類」(▲96.4%))
- ・国(地域)別構成比は韓国(34.4%)、中国(17.0%)、オーストラリア(13.9%)、台湾(7.8%)、ニュージーランド(6.6%)

### ●輸入

- ・輸入総額は3,046億59百万円、対前年比2.4倍(2年連続の増加)
- ・主な増加品目は「原粗油」(5.5倍)、「石炭」(4.0倍)、「天然ガス及び製造ガス」(77.8%)  
(主な減少品目は「電気機器」(▲6.7%)、「照明器具」(▲34.5%)、「非金属鉱物製品」(▲10.2%))
- ・国(地域)別構成比はサウジアラビア(27.4%)、オーストラリア(22.5%)、インドネシア(14.1%)、中国(8.8%)、アメリカ(6.4%)

### ●差引

- ・差引額は2,306億55百万円の入超(前年は822億79百万円の入超)



## 1. 輸出動向

### (1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	再輸出品 （359億22百万円、2.1倍）	48.5%	韓国（223億67百万円、52.7%） 中国（112億41百万円、872.9倍）
2	石油製品 （181億31百万円、2.2倍）	24.5%	オーストラリア（96億6百万円、18.3%） ニュージーランド（48億17百万円、全増）
3	金属鉱及びびくず （42億8百万円、15.5%）	5.7%	韓国（22億78百万円、91.9%） 台湾（8億43百万円、6.3%）
4	一般機械 （36億52百万円、▲15.6%）	4.9%	台湾（7億96百万円、6.5%） 中国（6億19百万円、2.3倍）
5	パルプ及び古紙 （26億67百万円、12.7%）	3.6%	台湾（14億77百万円、9.6%） インドネシア（4億84百万円、16.9%）
<b>増加品目（増加額・伸率）</b>		<b>主な増加国（地域）</b>	
1 再輸出品（+184億2百万円、2.1倍）		中国、韓国	
2 石油製品（+100億11百万円、2.2倍）		ニュージーランド、フィリピン	
3 金属鉱及びびくず（+5億64百万円、15.5%）		韓国、マレーシア	
<b>減少品目（減少額・伸率）</b>		<b>主な減少国（地域）</b>	
1 一般機械（▲6億72百万円、▲15.6%）		ドイツ、アメリカ	
2 電気機器（▲3億86百万円、▲89.3%）		アメリカ、中国	
3 精密機器類（▲2億51百万円、▲96.4%）		シンガポール、韓国	

### (2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 韓国 （254億47百万円、54.3%）	34.4%	再輸出品（223億67百万円、52.7%） 金属鉱及びびくず（22億78百万円、91.9%）
2 中国 （125億66百万円、7.0倍）	17.0%	再輸出品（112億41百万円、872.9倍） 一般機械（6億19百万円、2.3倍）
3 オーストラリア （102億87百万円、18.1%）	13.9%	石油製品（96億6百万円、18.3%） 飲料（3億22百万円、69.9%）
4 台湾 （57億55百万円、9.7%）	7.8%	パルプ及び古紙（14億77百万円、9.6%） 鉄鋼（10億69百万円、▲4.4%）
5 ニュージーランド （48億52百万円、302.4倍）	6.6%	石油製品（48億17百万円、全増） 飲料（33百万円、2.4倍）

## 2. 輸入動向

### (1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	原粗油 （834億66百万円、5.5倍）	27.4%	サウジアラビア（834億66百万円、5.5倍）
2	石炭 （792億46百万円、4.0倍）	26.0%	オーストラリア（377億91百万円、3.5倍） インドネシア（353億85百万円、4.7倍）
3	天然ガス及び製造ガス （298億90百万円、77.8%）	9.8%	オーストラリア（287億84百万円、71.5%） パプアニューギニア（10億93百万円、全増）
4	肉類及び同調製品 （124億62百万円、21.8%）	4.1%	アメリカ（25億98百万円、2.2倍） デンマーク（22億34百万円、▲17.5%）
5	石油製品 （113億8百万円、2.3倍）	3.7%	中国（85億43百万円、3.1倍） 韓国（27億58百万円、29.5%）
<p><b>増加品目（増加額・伸率）</b> <span style="float:right">主な増加国（地域）</span></p> <p>1 原粗油（+683億60百万円、5.5倍） <span style="float:right">サウジアラビア</span></p> <hr/> <p>2 石炭（+592億80百万円、4.0倍） <span style="float:right">インドネシア、オーストラリア</span></p> <hr/> <p>3 天然ガス及び製造ガス（+130億75百万円、77.8%） <span style="float:right">オーストラリア、パプアニューギニア</span></p> <hr/> <p><b>減少品目（減少額・伸率）</b> <span style="float:right">主な減少国（地域）</span></p> <p>1 電気機器（▲3億5百万円、▲6.7%） <span style="float:right">フランス、台湾</span></p> <hr/> <p>2 照明器具（▲2億89百万円、▲34.5%） <span style="float:right">中国、メキシコ</span></p> <hr/> <p>3 非金属鉱物製品（▲2億34百万円、▲10.2%） <span style="float:right">アメリカ、イタリア</span></p>			

### (2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 サウジアラビア （835億53百万円、5.5倍）	27.4%	原粗油（834億66百万円、5.5倍） プラスチック（87百万円、▲1.2%）
2 オーストラリア （685億71百万円、2.4倍）	22.5%	石炭（377億91百万円、3.5倍） 天然ガス及び製造ガス（287億84百万円、71.5%）
3 インドネシア （428億32百万円、3.7倍）	14.1%	石炭（353億85百万円、4.7倍） その他の動植物性原材料（50億20百万円、2.3倍）
4 中国 （266億69百万円、49.9%）	8.8%	石油製品（85億43百万円、3.1倍） その他の雑製品（19億7百万円、▲1.7%）
5 アメリカ （195億68百万円、91.6%）	6.4%	果実及び野菜（45億63百万円、12.3倍） 石炭（26億67百万円、3.9倍）

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。  
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
  - 各種貿易統計データの検索(品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等)
  - 財務省及び各税関(地域)の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課  
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階  
TEL. 098-862-9650

